

他区の外部評価の視点

(平成19年10月3日、各区のホームページにて調査)

区	外部評価の視点
台東区	<p>施策の執行状況を確認した上で、施策を六つの視点から評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 「目標に対して、成果は上がっているか」 「費用対効果の面で、予算は有効に活かされているか」 「施策を推進するにあたって、組織・人員は有効に機能しているか」 「区民との協働・役割分担、国や都等との役割分担は適切か」 「業務方法の改善(業務の効率化、委託、IT化等)は進んでいるか」 「総合評価」 <p>そして、その評価を前提として、「改善の方向性」をまとめている。</p>
世田谷区	<p>区による自己評価の質を高め、区民の方々にわかりやすい評価を実現するため、以下の5つの視点から評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の設定は適切か ・指標の設定は適切か ・目標達成のための手段は適切か ・目標達成に向けた課題把握は適切か ・評価は適切でわかりやすいか
中野区	<p>外部評価委員は、区の自己評価を踏まえて、区の担当職員からの聞き取りを行い、主に以下3つのポイントと、次年度以降の改善に向けて目標や指標についても評価</p> <p>評価の3つのポイント</p> <p>ポイント1: 区民への成果(効果)が高まっているかを評価</p> <p>ポイント2: 投入費用(人件費含む)は削減されているかを評価</p> <p>ポイント3: 事業の実績値は十分であることを評価</p>
杉並区	<p>施策の成果指標の設定と取り組み状況は適切であるか</p> <p>協働等によってサービスの質の向上や効率化に努めているか</p> <p>区民アンケートの結果から住民ニーズにあったものであるか</p> <p>今後の施策の方向性はどうかあるべきか</p>
豊島区	<ol style="list-style-type: none"> 1 施策評価表、事務事業評価表の構成について(よりよい行政評価制度に向けての提言) 2 表現の適切性(わかりやすく説明されているか) 3 目標・指標の適切性(活動指標・成果指標が目標を端的にあらわしているか) 4 施策の成果(成果はあがっているか) 5 総合評価(施策評価表を総合的に評価) 6 施策を構成する事務事業評価表についてのコメント・意見

板橋区	<p>(1) 成果の視点から 対象・活動指標・成果指標の設定は妥当か 指標設定が困難な場合は、現状において最適なものを代替指標としているか 活動指標・成果指標の数値は計画値を達成しているか 計画・目標設定が高すぎていないか、あるいは低すぎていないか 指標の達成状況と達成度に対する評価は妥当か</p> <p>(2) コストの視点から 単位あたりコストは明確になっているか 妥当な「単位」を設定しているか</p> <p>(3) 目的妥当性の視点から 当該事務事業が個別目標・施策の目的に合致しているか 区が実施する目的は明確か、国・都や民間等との役割分担の観点から当該事務事業を区が行う妥当性・必要性はあるか</p> <p>(4) 有効性・効率性の視点から 成果を向上させる努力をしているか、向上させる方法はないか コストを削減する努力をしているか、削減する方法はないか 受益者負担の設定は可能か、見直しする余地はないか 一部委託化や指定管理者制度の導入など、事業成果を下げずに、よりコストの低い手段へ事業形式を変更できる可能性はないか NPO等との協働により事業を実施する可能性はないか</p> <p>(5) 今後のあり方の視点から 所管課における一次評価の評語の選択、理由、今後の展開方針などは妥当か 19年度に向けての成果向上や経費削減など、具体的方策は妥当か</p>
練馬区	<p>区の内部評価に対して、評価内容や改革・改善方針等の妥当性・的確性・今日性等の観点から再評価する。</p>
足立区	<p>1 反映結果に対する評価 前年度の区民委員会の評価(提言)等が施策に反映されているか (注:提言が反映されていない場合は、十分な説明があるかどうか)に注視する。)</p> <p>2 目標・成果の達成状況への評価 投入資源に対して、成果が十分にでているか (注:指標及び目標値の設定に課題がある場合は、文章で表現し、評価を減じる。)</p> <p>3 今後の施策の方向性への評価 現状の施策の方向性が妥当であるか 目標達成の手段(事務事業)が適切に選択されているか</p>
江戸川区	<p>「今行っている事業が時代に合っているか。」 「十分な効果をあげているか。」 「効率的・効果的な方法が他にないか。」</p>